

大会スケジュール

平成25年9月27日(金)旭川グランドホテル

大会式典

14:00～ 開会
主催者挨拶
来賓紹介
来賓祝辞

14:45～ 閉会

記念事業

15:00～ 映画「じんじん」上映
17:15～ 企画・主演の大地康雄様よりメッセージ
17:45～ 閉会

懇親会

18:00～ 開会
主催者挨拶
来賓紹介
歓迎の言葉
乾杯
祝宴
各地区紹介
次年度主管地区発表
中締め(次年度主管地区会長)
19:30～ 閉会

大会MC(司会進行役)

プロフィール

タレント もりた ひとし
森田 仁

1970年9月5日生まれ

出身地／東京都中央区月島 (2011年より旭川市民になる)

経歴

1996年6月 お笑いコンビ「タイムトラベラー」結成
2002年6月 「タイムトラベラー」解散

主な出演番組等

2000年1～12月【レギュラー】
日本テレビ系「雷波少年 麺ロードの旅」
(世界14カ国を巡り究極の麺料理を作る旅)
旭川ケーブルテレビポテト
「あさひかわ夏・冬・夏まつり特番レポーター出演」
「森田仁のじゃがいも長者」
「森田仁の旭川魅力発見伝」ほか
映画「じんじん」出演(佐藤礼二郎役)

第28回 北海道建青会 全道会員大会

平成25年9月27日(金)

大会テーマ

「人と地域をつなぐ感動を」

主催／北海道建青会 主管／旭川建設業協会二世会



第28回北海道建青会全道会員大会挨拶

第28回北海道建青会全道会員大会の開催にあたりまして、多くのご来賓をはじめ、全道各地より大勢の会員の皆様にご参加いただきましたことを、旭川建設業協会二世会会員一同心から歓迎申し上げます。



北海道建青会 会長
旭川建設業協会二世会

赤川 秀次

さて、過去多年に渡り、建設産業が後退してきた中、昨年末の補正予算成立をきっかけに、建設業界に徐々に明るさが戻ってまいりました。現政権による経済再生政策の中での公共投資、東日本大震災の本格的な復興事業、北海道新幹線札幌延伸事業、橋梁・高速道路等のライフラインの老朽化対策事業など、建設業界が、被災した方々の為に、経済圏拡大の為に、そして人々が安心して生活できるようにする為に、汗を流す時が来たと思っております。

一方、現在直面している課題として、度重なる会社の規模縮小、高齢化による退職者により建設就業者の減少に歯止めがかからず、又資材の高騰、機材の不足、そして今後の建設業界の繁栄にかかせない若い人が建設業を敬遠している現状など、多くの課題があります。今年に入り、公共工事での発注機関による積算単価の改正など明るい兆しはありますが、建設業界に若い人々を迎え入れる為には、今後どのように労働環境を整備していくか議論し、若い人が集まる魅力ある業界づくりを実行していくことが必要と考えます。

今日の大会は、業界の中核を担う多くの皆様方が集まっておりますので、地区を越えて直面する課題に対して、情報交換をし、心を繋ぎ、力を合わせ、今後どのような活動・行動を行って建設業界を盛り上げていくか、考えるきっかけの場となれば幸いです。

最後になりますが、ご臨席頂きましたご来賓の皆様、ご参加いただきました会員の皆様、並びにご協力を賜りました皆様方に心から感謝を申し上げまして、大会開催のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

大会テーマ

人と地域を
つなぐ感動を

私達の暮らす北海道は、美しく広大な自然に恵まれておりますが、時にはその自然が厳しい猛威を振るい、ここに暮らす者達を脅かします。しかし、私達はその厳しい自然を地域の助け合いや人々の絆で乗り切ってきました。

今、少子高齢化による人口減少など

地域を取り巻く環境は新たな厳しさを迎え、

より地域・人々の絆が重要となっております。

私達は建設業という人々の暮らしと密接に関わる仕事に従事するものとして、

今一度、地域と人の絆を振り返るきっかけとして、

この映画「じんじん」を皆で鑑賞したいと思います。

私達が地域や人に出ることを改めて考え、

建設業という誇りある仕事を再認識したいと思います。



北海道開発局長

澤田和宏

第28回北海道建青会全道会員大会に寄せて

第28回北海道建青会全道会員大会が旭川市で盛大に開催されますことを、心から御慶び申し上げます。

また、皆様には、北海道開発行政の推進につきまして、平素から格別の御支援と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

北海道建青会は、本道建設業界の明日の担い手として、地域の振興・発展に寄与することを念頭に、企業間・地域間の枠を超えた交流や社会貢献活動を行ってきました。さらに、去年は全国建設青年会議第17回全国大会が北海道で開催されましたが、多数の会員や来賓、一般住民の参加のもと、主管ブロックとして大会を成功に導くなど、こうした活動に対し、深く敬意を表する次第であります。

北海道における建設業は社会資本整備を通して、地域の活性化に大きく貢献しているとともに、地域の防災力の担い手として迅速な災害対応を行うなど、建設業に寄せられる期待は大きなものがあります。

今大会のテーマは「人と地域をつなぐ感動を」ですが、私どもといたしましても、人と地域をつなぐことに資する道路、河川、港湾、農業基盤などの事業を行うことで、地域の皆様方に喜んでいただけるような社会資本整備を北海道建青会の皆様とともに進めていきたいと考えております。

皆様におかれては、昨今の社会情勢の変化に柔軟に対応しつつ、引き続き地域に根ざした建設業としての役割を果たされとともに、更なる技術の研鑽に取り組んでいただければと思っております。

最後になりますが、北海道建青会の益々の御発展と御臨席の皆様の御健勝を祈念いたしまして、御祝いの言葉といたします。



北海道知事

高橋はるみ

第28回北海道建青会全道会員大会に寄せて

第28回北海道建青会全道会員大会が盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

また、皆様には、平素から本道の発展に多大なご尽力をいただいていることに深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

少子高齢化や人口減少の進行など、本道を取り巻く環境が変化中、社会資本の整備はもとより、冬季における日々の除雪や自然災害への迅速な対応などを通じて地域の安全・安心を支えてこられた皆様には、道民から大きな期待が寄せられています。

こうした中、「人と地域をつなぐ感動を」をテーマに、地域と地域、あるいは人と人との絆の重要性を踏まえ、地域の特性を熟知し、豊富な経験と専門性を持つ建設業の役割について改めて確認する本大会の開催は、大変意義深いものと思います。

道といたしましては、人材の確保・育成をはじめ、建設業を取り巻く様々な課題の解決に向け、本年3月に「北海道建設産業支援プラン2013」を策定し、引き続き、経営力や人づくりの強化等に取り組む企業を積極的に支援していくこととしています。

また、道発注工事につきましては、早期発注や道内中小企業の受注機会の確保に努め、本道の景気の下支えや雇用の確保につなげてまいりたいと考えています。

さらに、地震や津波、豪雨等の自然災害への対応や、更新期を迎える道路、河川等の既存施設の長寿命化に向けた対策など、道民の方々の安全で安心な暮らしが守られるよう、社会資本の整備を進めてまいります。

人々の安心・安全な暮らしを支えるインフラ整備の担い手である皆様におかれましても、本大会を通じ、今後も地域と密接に関わりながら「地域と共にある建設業を目指す」という熱い思いを全道に発信していただきたいと思っております。

終わりに、本大会のご成功と北海道建青会のみまますのご発展、お集まりの皆様のご健勝を心から祈念し、お祝いの言葉とします。



旭川市長

西川 将人

第28回北海道建青会全道会員大会に寄せて

第28回北海道建青会全道会員大会が旭川市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、平素から本市の建設行政に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

近年、地域のつながりの希薄化が懸念される一方で、一昨年の東日本大震災以降、「絆」の重要性が改めて認識されている中、本日は、「人と地域をつなぐ感動を」をテーマに、未来の建設業界を担う若い皆様が全道各地から集結され、建設業という枠にとらわれることなく、地域の将来について大いに議論を深められると伺っております。

私たちが暮らす北海道は、豊かな自然と肥沃な大地に恵まれ、四季折々の表情が美しい地域です。しかし、その一方で、自然の厳しさに常に直面している地域でもあります。このところ毎年のように、ゲリラ豪雨といわれる激しい雨や、局地的な大雪など、われわれがこれまで経験したことのないような自然災害が発生し、地域住民の暮らしが脅かされております。このような災害から私たちの地域を守り人々の安全安心を確保するために、建設業は、地域の基幹産業として良質な社会基盤の維持・整備はもちろんのこと、災害時における救援、復旧活動等様々な社会貢献も実践されており、必要不可欠で重要な産業であります。そのような建設業の未来を担う若い皆さんの熱い思いで、本大会が盛り上がり有意なものとなるよう期待しております。

さて、日本経済は政府の経済・金融政策などにより、回復の兆しが見えてきたと言われておりますが、北海道経済は依然として先行きが不透明な状況が続いております。また、公共事業の減少に歯止めはかかったものの、復興事業の本格化に伴う資材価格の高騰など、依然として厳しい状況にあります。

建設業を取り巻く環境も、長引く景気の低迷による経営状況の悪化、建設労働者数の減少に伴う若年労働者への技術・技能の伝承といった育成問題など、大きな課題を抱えていることと思います。しかし、北海道における経済・雇用を支える基幹産業である建設業の皆さんには、今後ともさらなる専門知識の蓄積や技術力の向上に積極的に取り組まれますとともに、新たな事業の展開にも柔軟に取り組むことで、引き続き北海道の基盤を支えていただきたいと思います。

最後になりましたが、北海道建青会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を御祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 北海道建設業協会

会長 岩田 圭剛

お祝いの言葉

第28回北海道建青会全道会員大会が旭川市において盛大に開催されましたことに対し、心からお慶びを申し上げます。

北海道建青会においては、毎年、全道各地を持ち回りで行うこの大会に会員各位が持てる力を結集され、会員相互の交流と親睦を図りながら、建設業の発展と社会的地位の向上に努められ、それぞれの地域社会に大きく貢献されていることに、あらためて深く敬意を表する次第であります。

さて、日本経済は、昨年末の総選挙において成立した安倍政権の経済政策「アベノミクス」により、景況感に明るさをもたらしていますが、平成26年度予算においても引き続き成長戦略を進め、経済成長が本物となるよう期待されているところです。

我が建設業界にあっては、民主党政権下における大幅な公共事業費の削減により、相当程度のリストラを進め疲弊した状態となっております。今回の15か月予算によって明るさを取り戻しつつはありますが、技術者や技能労働者の不足、資機材の入手困難などによって、受注工事の対応に苦慮している状況にあります。

北海道の建設業は、地域の基幹産業として、地域の雇用を守り、地域経済を支えるとともに、住民の安全・安心な暮らしを守るための社会資本の整備・維持という重要な役割を果たしており、将来に向けて技術者や技能工を確保し技術の伝承に努めていかなければなりません。そのためにも、適正な利益を確保し、会社の経営基盤を盤石なものとしていくことが必要であります。

北海道における防災・減災のための基盤整備、特に厳寒の冬季に災害発生した場合の被害拡大を食い止めるための基盤整備の必要性をねばり強く主張し、公共投資の安定的・持続的な確保を要望していくことが必要と考えています。

北海道建青会にあっては、今大会のメインテーマに示されているように、美しく広大な自然も、時には厳しい猛威を振りいそこに暮らす人々を脅かすことがあり、建設業を営む我々が、地域の人々の暮らしを守るため、地域と人との絆を考えると、真に重要なことであり、大いに期待を寄せているところであります。

どうか、その力強い行動力と新しい感覚による柔軟な発想のもとに、より一層ご精進とご研鑽を積み、魅力ある建設業づくりに、そして新しい地域づくりに存分に手腕を発揮され、ご活躍されますことを切望するものであります。

終わりに、北海道建青会の今後ますますのご隆盛と会員各位のご健勝、ご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成25年9月27日

映画「じんじん」上映



企画・主演：大地康雄
©2013「じんじん」製作委員会



日本映画史に新たなページを刻む映画『じんじん』が、この北海道で誕生いたしました。

日本を代表する個性派俳優・大地康雄が企画・主演し、人口わずか3,500人余りの小さな町・剣淵町を舞台に、心やさしき人々が紡ぐ無償の愛の物語を、剣淵町・松島町他オールロケーションで描きました。

絵本を真ん中に置きながら、人と人との心が通い合う「絵本の里づくり」を目指した剣淵町の、心を育む町づくりに感銘を受けた大地康雄が、俳優生命を賭けて情熱を注ぎ込んだ感動作の誕生です。



イントロダクション【Introduction】

俳優 大地康雄が出会った「絵本の里」の情景。

前作『恋するトマト』の上映会で北海道を訪れた折に、初めて剣淵町を訪れたのが2008年のこと。そこでは広大な大地にしっかりと根を下ろし農作業に精を出す人びとが、仕事の合間をぬって「絵本の館」に顔を出し、子どもたちに読み聞かせをしていました。

子どもたちは目を輝かせながら聞き入り、腹を抱えて笑い転げ、時には目にいっぱい涙を浮かべる姿が。窓の外に広がる青空と、緑の大地に吹き渡る風が見守るなか、大地はこの姿にふれ、身体が震えるほどの感動に包まれたとのこと。

「この情景が語るものこそ、今、私たちが、この日本が語らなければならないものではないだろうか・・・」。

その想いは、多くの共感を集め、この映画製作プロジェクトへつながっていきました。

絵本を真ん中に置きながら、人のやさしさと親子の絆をテーマにした映画を届けたい。

2011年3月11日、東日本一帯を襲った大地震は日本に大きな試練を与えました。

尊い生命と、日常の生活を奪われ、夢や希望さえも見失いかけたとき、日本の各地から、そして世界の多くの国々からも「支えあう心のやさしさ」が被災地に届けられました。避難所に暮らす子どもたちの元には、自然発生的に絵本が届けられ、読み聞かせのボランティアも被災地を訪れました。それらの絵本と読み聞かせは、子どもたちの「心のよりどころ」になった。あらためて「絵本の力」が発揮されたエピソードです。

そんな絵本を物語の真ん中に置きながら、人の心のやさしさと親子の絆をテーマに、楽しく、そして少し切なく心に染みわたる映画を日本中に届けたい。大地の想いに共感した人びとが集まり、映画製作の旗を掲げ、その歩みははじまりました。

剣淵町が「絵本」に夢と希望を託したように、映画に夢と希望を託し、北の大地・剣淵と、困難な状況を乗り越えようと風評被害にも悩まされている、被災地・松島が、一本の映画をとおして支えあい、心をつなげたとき、大震災から立ち直る新たな力も見えてくるはず。そんな確信も、映画づくりを進める力になりました。

ストーリー【Story】

絵本の里がつなぐのは、心やさしい人びとの無償の愛。大地に染みわたる親子の絆。

宮城県・松島に住む大道芸人の銀三郎(56)は、気ままな独り身で芸人仲間から愛されるお調子者だ。

人の集まる場所があればどこへでも行き、誰とでも仲良くなる自由な生活を楽しみ、決まり事といえば、北海道で幼なじみが営む農場を年に一度手伝うことのみ。会社員だったときに別れた妻と幼かった娘にもそれっきり会っていない。

そんなある年の農場に行くと、都会から農業研修で来ていた女子高生たちと一緒に、ひとつ屋根の下で過ごすことになる。自由人の中年男性と現代人の女子高生たちはいがみ合いながらも、大自然や町の人びとの人柄にふれて距離を縮めていく。ただひとりの少女だけをのぞいて。やがて農業研修は終わりに近づき、ひとりだけ心を開かない彼女は、研修を担当する農家の青年にそっと悩みを打ち明けるのだった・・・。

キャスト【Cast】

テーマに共感にした日本を代表する演技派キャストが集結。



立石 銀三郎(たていし ぎんざぶろう)
大地 康雄(だいち やすお)

1951年生まれ、熊本県出身。1975年、ドラマ『剣と風と子守唄』で俳優デビュー。1979年、『衝動殺人・息子よ』で映画デビューを果たす。その後、演技派俳優として数多くの作品に出演し、『病院へ行こう』で日本アカデミー賞助演男優賞を受賞。日本を代表する俳優の一人でありながら、映画への情熱は人一倍で、『恋するトマト』では、企画・脚本・製作総指揮・主演の一人4役を務めた。



日下部 彩香
(くさかべ あやか)

小松 美咲(こまつ みさき)

静岡県出身。「ミスFLASH2012」でグランプリを獲得し、テレビ、舞台、CMなど多方面で活躍。



高峰 庄太
(たかみね しょうた)

佐藤 B作(さとう びーさく)

福島県出身。劇団東京ヴォードヴィルショー主宰。ジャンルを問わず数多くの作品で、幅広い役をこなす重鎮。



水沢 由紀江
(みずさわ ゆきえ)

若村 麻由美
(わかむら まゆみ)

東京都出身。



高峰 聡子
(たかみね さとこ)

中井 貴恵(なかい きえ)

東京都出身。映画『女王蜂』でヒロインデビュー。「大人と子供のための読み聞かせの会」代表も務める。



水沢 志乃
(みずさわ しの)

絵沢 萌子
(えざわ もえこ)

兵庫県出身。



高峰 健
(たかみね たける)

井上正大(いのうえ まさひろ)

神奈川県出身。舞台「テニスの王子様」で俳優デビュー。「仮面ライダー ディケイド」で一躍人気に。



小山 昌子
(こやま まさこ)

中田 喜子
(なかだ よしこ)

東京都出身。



小山真一郎
小宮孝泰



井上浩司
村田雄浩



日下部和子
手塚理美



日下部民生
板尾創路

スタッフ【Staff】

大地が呼びかけたスタッフと、「レオニー」、「エクレール〜お菓子放浪記〜」を製作した北海道の映画製作陣がタッグ。

核となる絵本制作には「旭山動物園日誌」などを生んだあべ弘士が参加しました。



企画・主演 大地康雄
 監督:山田大樹
 脚本:坂上かつえ
 絵本原案:明川哲也(ドリアン助川)
 絵本原画・題字:あべ弘士(「あらしのよるに」、「旭山動物園日誌」)
 大道芸指導:源吾朗
 撮影監督:小松原茂
 照明:松隈信一
 録音:山田幸治
 美術:山崎輝、及川幸恵
 装飾:鈴木仁
 編集:掛須秀一
 音響効果:松浦大樹
 キャスティング:星久美子
 音楽:吉川清之
 衣裳:千代田圭介、濱中美衣
 ヘアメイク:赤間久美江
 スクリプター:小関ひろみ
 スチール:今津秀邦
 助監督:吉田尅隻
 製作担当:野村邦彦、塚村悦郎
 ゼネラルプロデューサー:深津修一
 エグゼクティブプロデューサー:鳥居明夫、松本きい
 プロデューサー:中山賢一
 アソシエイトプロデューサー:伊藤秀
 配給プロデューサー:岡村雄二、野嶽次郎
 ラインプロデューサー:坂口慎一郎
 ポストプロダクションプロデューサー:篠田学
 製作:『じんじん』製作委員会
 配給:『じんじん』全国配給委員会
 制作:株式会社プリズム
 制作協力:株式会社パイプライン

ロケーション【location】

「エクレール〜お菓子放浪記〜」で培った被災地との絆。大自然にまつまれた絵本の里と風光明媚な景勝地が物語の舞台。



メインロケ地：北海道上川郡剣淵町

20年以上前から“絵本”を題材にまちづくりをすすめる。読み聞かせ、原画展、親子教室などのほか、毎年メインイベント「絵本の里大賞」を実施。道内外からオリジナルの絵本作品を公募し、出版している。国内外の絵本を収集した「絵本の館」では全国に貸出を行う。「ビバアルパカ牧場」が話題に。

サブロケ地：宮城県宮城郡松島町

日本三景のひとつ「松島」。3.11東日本震災でも大きな被害に見舞われた。銀三郎の居住地として登場し、「瑞巖寺」や「五大堂」といった名勝や、松島の絶景を一望できる湯宿「一の坊」も登場。

屋内ロケ地(一部)：栃木県足利市

日本最古の総合大学といわれる「足利学校」など、足利氏ゆかりの地として多くの史跡が残る街。清流「渡良瀬川」が流れ、映画では指定文化財の「物外軒」、「白鷺大学足利高校」などで撮影。

映画『じんじん』北海道上映を応援する会

顧問

高橋はるみ(北海道知事)
 村井嘉浩(宮城県知事)
 上田文雄(札幌市長)

代表呼びかけ人

あべ弘士(絵本作家)／相賀昌宏(社団法人 日本書籍出版協会 理事長)／大橋信夫(日本書店商業組合連合会会長)／大橋健男(松島町長)／大豆生田 実(足利市長)／大見英明(生活協同組合コープさっぽろ理事長)／小檜山 博(作家)／小峰紀雄(社団法人 読書推進運動協議会 会長)／坂本眞一(社団法人 北海道観光振興機構会長)／佐々木智雄(剣淵町長)／大地康雄(俳優)／高橋小織(絵本・日本プロジェクト会長)／竹下晴信(日本児童図書出版協会会長)／中井貴恵(俳優)／肥田美代子(公益財団法人 文字・活字文化推進機構理事長)／深津修一(映画『じんじん』製作委員会代表)／松居直(児童文学者)／村山隆雄(社団法人 日本国際児童図書評議会会長)／柳田邦男(ノンフィクション作家)／横山英子(NPO法人キューオーエル理事長)／社団法人家の光協会



■ 会員名簿

■ 第28回北海道建青会 全道会員大会役員

役職	氏名	所属団体
会長	赤川 秀次	旭川建設業協会二世会
副会長	菅原 圭介	小樽建設協会建世会
副会長	土田 好起	オホーツク二建会
相談役	堀松 秀樹	萌志会(留萌建設協会二世会)
代表責任者	橋本 毅	旭川建設業協会二世会
実行委員長	花本 金行	旭川建設業協会二世会
理事	藤田 裕司	旭川建設業協会二世会
理事	吉本 貴昭	小樽建設協会建世会
理事	長 勇人	小樽建設協会建世会
理事	鴨下 辰哉	オホーツク二建会
理事	中村 圭	オホーツク二建会
理事	斎藤 敬介	宗谷建設青年会
理事	田中 太一	宗谷建設青年会
理事	辻谷 智之	釧路建親会
理事	佐々木 泰三	釧路建親会
理事	大庭 将宣	札幌建青会
理事	山田 健一郎	札幌建青会
理事	伊藤 大樹	道南建設二世会
理事	戸沼 淳	道南建設二世会
理事	萩 宰	室蘭経営研究会
理事	矢部 道晃	室蘭経営研究会
理事	伊豆倉 米郎	帯広二建会
理事	新妻 里美	帯広二建会
理事	田端 千裕	空知経営研究会(葉月会)
理事	神部 俊克	空知経営研究会(葉月会)
理事	佐藤 太紀	萌志会(留萌建設協会二世会)
理事	堀口 哲志	萌志会(留萌建設協会二世会)
事務局	谷脇 勝英	旭川建設業協会二世会
監事	進藤 竹則	小樽建設協会建世会
監事	堀松 誠	萌志会(留萌建設協会二世会)

■ 小樽建設協会建世会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	菅原 圭介	(株)スガワラ	代表取締役社長	41
副会長	瀬尾 孝志	瀬尾建設工業(株)	代表取締役副社長	40
副会長	長 勇人	(株)長組	代表取締役副社長	37
理事	近藤 修弘	近藤工業(株)	取締役経営管理部長	43
理事	中山 善彦	中山建設(株)	常務取締役	41
理事	菊地 真輔	菊地建設鋳業(株)	専務取締役	34
監事	和田 哲也	和田建設工業(株)	代表取締役社長	43
監事	中村 和男	(株)中村組	代表取締役社長	45
事務局長	進藤 竹則	(株)進栄	代表取締役	37
事務局次長	柏谷 匡胤	横関建設工業(株)	代表取締役社長	32
参与	吉本 貴昭	(株)吉本組	代表取締役副社長	40
	橋詰 学	橋詰建設(株)	専務取締役	43
	山谷 憲弘	(株)山谷建築店	常務取締役	38
	佐竹 晃造	佐竹建設(株)	常務取締役	38
	下田 家康	(株)下田組	代表取締役	34
	酒井 清明	日道建設運輸(株)	代表取締役	38
	白戸 正宏	(株)白戸工務店	代表取締役	33
	石澤 洋之	(株)石澤組	代表取締役	32
	庄子 奈介	久光工業(株)	常務取締役	40

■ オホーツク二建会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	土田 好起	斜里建設工業(株)	代表取締役社長	45
副会長	五十嵐 龍	五十嵐建設(株)	代表取締役	43
副会長	堰代 稔大	北成建設(株)	常務取締役	43
副会長	鴨下 辰哉	北辰土建(株)	代表取締役社長	36
事務局長	中村 圭	(株)そうけん	代表取締役副社長	34
副事務局長	美田 大輔	美田建設工業(株)	企画室長	33
会計	高橋 光貴	高橋土建(株)	代表取締役	40
総務委員長	岸 良明	(株)岸組	代表取締役社長	43
総務副委員長	坂本 智一	(株)坂本建設	代表取締役	40
事業委員長	前谷 考則	北東開発工業(株)	代表取締役専務	46
事業副委員長	後藤 武史	(株)三共後藤建設	専務取締役	33
監査	嘉野 浩一	(株)村上組	代表取締役	50
監査	中川 寿一	芙蓉建設(株)	代表取締役社長	47
委員	宮田 博行	(株)宮田建設	代表取締役	50
委員	西村 幸浩	(株)西村組	代表取締役	49
委員	鈴木 栄樹	北進工業(株)	代表取締役	49

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
委員	大沼 剛	聖太建設(株)	代表取締役	47
委員	窪田 憲俊	窪田建設(株)	代表取締役副社長	43
委員	猪狩 貴論	イガリ建設(株)	代表取締役	37
委員	渡辺 忍	吉井建設(株)	専務取締役	35
委員	早水 誠	(株)早水組	代表取締役社長	33
委員	工藤 隆寛	(株)藤共工業	常務取締役	33
委員	松谷 光浩	三和工業(株)	専務取締役兼土木部長	32
委員	森谷 晴紀	(株)渡辺組	営業部次長	42
委員	松谷 和秀	松谷建設(株)	取締役営業部長	33
委員	管野 浩太郎	(株)管野組	取締役総務・営業部長	32
委員	佐藤 由晶	興和建設(株)	総務課長	33

■宗谷建設青年会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	斎藤 敬介	(株)共成建設	常務取締役	46
副会長	山本 博文	豊成建設(株)	代表取締役	40
副会長	田中 太一	田中建設(株)	代表取締役社長	38
幹事	北川 義和	(株)早坂組	常務取締役	49
幹事	安部 征人	(株)安部産業	代表取締役専務	46
幹事	佐藤 雄示	佐藤産業(株)	代表取締役社長	42
幹事	小谷 寿広	(株)ササキ	常務取締役	41
幹事	細谷 武昭	細谷建設(株)	代表取締役	40
幹事	佐々木 淳	(株)佐々木組	代表取締役社長	39
幹事	竹内 雅美	道北土建(株)	専務取締役	38
幹事	貝森 貴博	錦産業(株)	常務取締役	35
監査	藤田 隆明	藤建設(株)	代表取締役専務	53
監査	寺澤 尚哉	(株)寺沢組	代表取締役社長	48
事務局長	齋藤 直哉	三洋建設興業(株)	代表取締役社長	45
事務局次長	佐藤 将弘	(株)佐藤組	取締役専務	38
	石塚 英資	石塚建設興業(株)	代表取締役社長	52
	高木 浩昭	(株)高木組	代表取締役	52
	達 正己	(株)森崎組	土木主任	51
	丹羽 章仁	丹羽建設(株)	専務取締役	51
	豊島 忠昭	(株)伊藤組	代表取締役	51
	北野 克弘	北野建設(株)	常務取締役	49
	竹沢 勇	(株)南波組	代表取締役	49
	高橋 政志	北開建設(株)	代表取締役	48
	河村 洋	井手上建設(株)	専務取締役	47
	関 和浩	北海土建工業(株)	代表取締役	45
	中田 忍	中田建設(株)	常務取締役	43

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
	鈴木 直也	(有)鈴木重機工業	代表取締役	42
	惣万 律	(株)惣万組	専務取締役	41
	柳谷 英也	(有)柳谷建設	代表取締役	41
	安田 大陸	国土開発工業(株)	取締役土木部長	39
	今野 慎一郎	正田建設(株)	取締役業務部長	38
	門田 晋慈	(株)高橋建設		34
	清水 康太	土屋建設(株)	土木係長	33
	安田 勝一	安田建設(株)	総務部主任	28
	中田 有介	(株)中田組	役員室長	27

■釧路建親会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	辻谷 智之	辻谷建設(株)	代表取締役	46
副会長(総務委員長)	佐々木 泰三	(株)佐々木建設	取締役副社長	39
副会長(経営委員長)	上田 修平	(株)上田組	専務取締役	35
プロジェクト委員長	池田 優	タカオ工業(株)	代表取締役社長	45
総務副委員長	渡部 仁志	渡辺建設工業(株)	取締役副社長	37
経営副委員長	高玉 哲朗	高玉建設工業(株)	専務取締役	35
プロジェクト副委員長	小野 寺俊	(株)小野寺組	代表取締役社長	43
	赤石 隆哲	赤石建設(株)	専務取締役	38
	天方 智順	東工業(株)	代表取締役	49
	小澤 慎司	開成建設工業(株)	代表取締役副社長	42
	小針 武志	小針土建(株)	代表取締役社長	49
	竹嶋 哲也	中村興業(株)	代表取締役副社長	40
	林 栄太郎	林建設工業(株)	代表取締役社長	44
	本田 秀樹	(株)本田組	代表取締役	47
	松實 秀樹	釧根開発(株)	代表取締役社長	46
	宮原 崇成	(株)宮原組	取締役副社長	35
	山下 大介	真壁建設(株)	取締役営業部長	33
	山根 浩	山根土建(株)	代表取締役社長	49
	渡部 哲夫	東星渡部建設(株)	専務取締役	49

■札幌建青会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	大庭 将宣	(株)大庭組	代表取締役社長	47
副会長	山田 健一郎	(株)山田組	代表取締役社長	46
副会長	藤井 公人	(株)藤井工務店	代表取締役社長	46
理事	玉川 裕一	(株)玉川組	代表取締役社長	43
監事	中井 靖	中井聖建設(株)	代表取締役社長	47
監事	岸本 教範	岸本産業(株)	代表取締役社長	47

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
	垣原 徳彰	垣原建設興業(株)	代表取締役社長	49
	伊藤 雅輝	新昌建設(株)	取締役副社長	36
	坂 昭弘	勇建設(株)	常務取締役	36
	砂田 英俊	北土建設(株)	代表取締役社長	37
	中田 将博	道興加茂(株)	常務取締役	38
	堀 有紀	豊松吉工業(株)	代表取締役専務	48

■道南建設二世会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	伊藤 大樹	伊藤アスファルト建設(株)	代表取締役社長	45
副会長	戸沼 淳	戸沼岩崎建設(株)	代表取締役社長	48
副会長	伊関 寿之	(株)伊関組	代表取締役社長	45
副会長	山田 晋市	近藤建設(株)	代表取締役	46
理事	石黒 和浩	石黒建設(株)	代表取締役社長	47
理事	折谷 弘之	(株)折谷組	代表取締役社長	45
理事	河野 光春	(株)河野組	常務取締役	44
理事	高橋 千尋	(株)高橋建設	代表取締役	45
理事	中塚 卓朗	中塚建設(株)	専務取締役	50
理事	平谷 信行	平谷建設(株)	代表取締役社長	43
監事	工藤 純	(株)工藤組	代表取締役	43
監事	近藤 公	中川建設(株)	営業部長	45
相談役	齊藤 大介	齊藤建設(株)	代表取締役社長	45
事務局長	渡辺 一史	渡辺建設(株)	専務取締役	39
事務局次長	福西 秀輔	(株)工藤組	取締役営業部長	30
事務局次長	渡辺 洋司	星組渡辺土建(株)	専務取締役	30
	大竹 直人	(株)相互建設	取締役営業部長	41
	大野 一	(株)三和建設	代表取締役	43
	紀國 隆介	紀の國建設(株)	専務取締役	31
	斉藤 亮	(株)斉藤組	代表取締役社長	54
	城ヶ端 政次	城ヶ端建設(株)	代表取締役	48
	瀧澤 雅敏	和工建設(株)	代表取締役社長	50
	中村 展之	横山興業(株)	代表取締役専務	43
	若狭 正仁	(株)若狭組	代表取締役	46

■室蘭経営研究会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	萩 宰	北興工業(株)	代表取締役	43
副会長 (政策担当)	矢部 道晃	北海土建工業(株)	代表取締役	44
副会長 (事業担当)	小金澤 昇平	(株)小金澤組	代表取締役	39

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
事業委員長	出口 直沖	(株)出口組	専務取締役	39
事業副委員長	田湯 勝義	田湯タナカ建設(株)	代表取締役	41
事業副委員長	酒井 芳宏	酒井建設(株)	代表取締役	40
事務局長	金丸 健	豊浦建設工業(株)	常務取締役	35
事務局次長	磯田 洋一	(株)磯田組	常務取締役	33
監事	鈴木 英毅	(株)丸斗工業	代表取締役	47
監事	永井 武憲	(株)永井組	代表取締役	43
事業委員	手塚 純一	(株)手塚組	代表取締役	48
事業委員	成田 才仁	(株)丸成成田組	専務取締役	49
事業委員	吉田 敏史	(株)吉田建設	代表取締役	49
事業委員	幌村 佑規	幌村建設(株)	取締役副社長	31
事業委員	木村 耕志	(株)木村建設	代表取締役	43

■帯広二建会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
代表幹事代行	伊豆倉 米郎	(株)伊豆倉組	常務取締役	51
幹事	佐々木 光彰	笹谷建設(株)	代表取締役社長	49
監査	中塚 学	昭和工業(株)	専務取締役	49
幹事	木川 靖洋	(株)アスワン	代表取締役社長	44
	丹野 泰彦	丹野建設(株)	代表取締役社長	44
	福田 憲司	(株)フクタ	代表取締役社長	43
相談役	河西 健一	栗林建設(株)	代表取締役社長	42
	小川 哲也	長尾建設(株)	専務取締役	41
	新妻 宏美	(株)新妻組	常務取締役	41
幹事	阿部 孝光	(株)野田組	取締役事業本部長	41
	三浦 俊治	(株)遊佐組	取締役営業部長	41
事務局幹事	新妻 里美	(株)新妻組	常務取締役	39
	岡崎 慶太	(株)岡崎組	取締役	39
	石橋 堂裕	(株)石橋建設	専務取締役	38
	斉藤 和之	斉藤井出建設(株)	代表取締役社長	38
	植村 高愛	植村土建(株)	代表取締役社長	37
幹事	三井 雅弘	(株)三井組	常務取締役	36
幹事	川田 岳論	川田工業(株)	常務取締役	34
	萩原 一宏	萩原建設工業(株)	執行役員営業副本部長	33
	加藤 悠太	加藤建設(株)	専務取締役	31
幹事	山内 正裕	(株)山内組	常務取締役	30
	曾根 啓介	(株)ネクサス	常務取締役	27

■ 空知経営研究会(葉月会)

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	田端千裕	(株)田端本堂カンパニー	代表取締役社長	47
副会長 (総務・親睦)	佛田好広	栄建設(株)	代表取締役社長	47
副会長 (元気・創造)	神部俊克	(株)神部組	代表取締役社長	43
監事	及川聡	及川産業(株)	代表取締役社長	50
事務局長・総務委員長	藤岡靖士	(株)藤岡建設	代表取締役社長	45
総務副委員長	北谷洋文	(株)北谷組	常務取締役	40
親睦委員長	中村拓哉	福中建設(株)	代表取締役社長	42
親睦副委員長	浅井秀二	双葉建設産業(株)	取締役次長	36
元気創造委員長	谷村明紀	谷村工業(株)	専務取締役	42
元気創造副委員長	植村真美	植村建設(株)	取締役部長	36
元気創造委員	澤田直矢	(株)井出組	常務取締役	44
元気創造委員	岸本友宏	(株)岸本組	取締役副社長	34
元気創造委員	佐藤志代	光栄建設工業(株)	取締役	24
シニア	中山次郎	不二建設(株)	代表取締役社長	51
シニア	藤井雅仁	(株)北興建設	代表取締役社長	51
シニア	櫻井康	(株)櫻井千田	専務取締役	53
シニア	砂子邦弘	(株)砂子組	代表取締役社長	55
シニア	佐々木康宏	(株)北創	代表取締役社長	56
シニア	中山茂	(株)中山組	代表取締役社長	58
シニア	荒井收	(株)樋口組	代表取締役社長	58
シニア	松浦淳一	松浦建設(株)	代表取締役社長	58
シニア	馬淵智康	馬淵建設(株)	代表取締役社長	58
シニア	奈良和康	開発工建(株)	代表取締役社長	59

■ 萌志会(留萌建設協会二世会)

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	佐藤太紀	山高建設工業(株)	代表取締役社長	42
副会長	堀口哲志	(株)堀口組	代表取締役社長	38
副会長	片岡俊浩	道北興業(株)	代表取締役	49
副会長	渡部和人	渡部工業(株)	代表取締役社長	42
監事	堀松秀樹	三協建設(株)	代表取締役社長	46
監事	山郷佳克	増毛土建(株)	代表取締役社長	49
事務局長	堀松誠	白鳥建設工業(株)	代表取締役社長	41
事務局	山本道浩	山本建設工業(株)	代表取締役副社長	46
理事(会計)	奥山和彦	橋場産業(株)	代表取締役社長	48
理事(広報)	秋山貴人	萌州建設(株)	取締役部長・取締役苫前支店長	44
理事	麻里隆三	初山別土建(株)	代表取締役	48

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
理事	鹿児島真	鹿児島建設(株)	代表取締役	48
理事	原田欣典	興北建設(株)	代表取締役社長	45
理事	堀松一郎	堀松建設工業(株)	代表取締役社長	45
理事	畑中修平	萌州建設(株)	代表取締役社長	52
理事	居原田隆夫	(株)和秀	代表取締役	53
理事	石山道德	(株)メイク	代表取締役	51
理事	森本勝己	(株)道北土木	専務取締役	44
理事	神勝男	光栄運輸(株)	代表取締役専務	50
理事	遠藤邦彦	(株)遠藤重機建設	常務取締役	42
理事	石山公介	(株)石山組	営業担当	33

■ 旭川建設業協会二世会

役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	赤川秀次	赤川建設興業(株)	取締役社長	48
副会長	藤田裕司	(株)藤田組	取締役社長	49
副会長	橋本毅	(株)橋本川島コーポレーション	専務取締役	46
部会長(地域貢献・研修)	花本金行	花本建設(株)	代表取締役	46
部会長(会員交流)	生駒光宏	丸駒シビルサービス(株)	取締役社長	44
幹事長(総務)	谷脇勝英	(株)谷脇組	取締役社長	40
監事(会計)	近藤俊人	(株)近藤組	取締役副社長	36
監査員	高喜久雄	(株)高組	取締役社長	49
監査員	盛永喜之	(株)盛永組	代表取締役社長	49
委員	荒井克典	荒井建設(株)	専務取締役	47
委員	荒田政一	(株)アラタ工業	代表取締役	42
委員	五十嵐幸次	(株)五十嵐組	取締役社長室長	30
委員	新谷逸生	新谷建設(株)	常務取締役	31
委員	中館孝彰	中館建設(株)	専務取締役	32
委員	濱塚努	濱塚建設工業(株)	代表取締役社長	47
委員	本多純佳	(株)浜田組	取締役	38
委員	吉田寛	(株)中川阿部建設	代表取締役	39



- 第1回**
主 管／道南建設二世会
テーマ／おやじ万歳
- 第2回**
主 管／室蘭経営研究会
テーマ／建設業が果たす地域活性化への役割
- 第3回**
主 管／帯広二建会
テーマ／建設二世として、いま何をすべきか
- 第4回**
主 管／空知経営研究会（葉月会）
テーマ／今、地球に求められる建設二世とは！
- 第5回**
主 管／萌志会（留萌建設協会二世会）
テーマ／地域創りのために行動する建設二世を目指して
- 第6回**
主 管／旭川建設業協会二世会
テーマ／夢をかたちに！！今、確かな道標を目指して
- 第7回**
主 管／小樽建設協会建世会
テーマ／今小樽から！！21世紀に躍動する建設二世を目指して
- 第8回**
主 管／オホーツク二建会
テーマ／北の大地オホーツク！新たなパラダイムによる時代の構築を
- 第9回**
主 管／宗谷建設青年会
テーマ／変革の時！！建設業は今、生まれかわる・・・
- 第10回**
主 管／釧路建親会
テーマ／時代に喝、己に克、未来に活
- 第11回**
主 管／札幌建青会
テーマ／建設業 21 世紀への挑戦
- 第12回**
主 管／道南建設二世会
テーマ／北海道経済における建設業の重要性と役割
- 第13回**
主 管／室蘭経営研究会
テーマ／「変革に挑む」～力強く、しなやかに～
- 第14回**
主 管／空知経営研究会（葉月会）
テーマ／「OPEN&SPEEDY」
（あなたに未来は見えていますか？速きが遅きを食う時代）

- 第15回**
主 管／帯広二建会
テーマ／「北の大地 昨日、今日、そして明日」
（自然と共生する建設産業にむかって）
- 第16回**
主 管／萌志会
テーマ／「環（かん）」
（子供達に夢、まちに元気、地域に希望）
- 第17回**
主 管／旭川二世会
テーマ／「突破」
（変化をつかみ新しい夢を！）
- 第18回**
主 管／小樽建設協会建世会
テーマ／全国建設青年会議 第2回全国会議
- 第19回**
主 管／オホーツク二建会
テーマ／見つめよ未来・見直せ郷土 今、地域と共に創造を！！
- 第20回**
主 管／宗谷建設青年会
テーマ／地域ビジョン創造への挑戦！
- 第21回**
主 管／釧路建親会
テーマ／食の魅力を活かした北海道観光の発展～釧路からの挑戦！！～
- 第22回**
主 管／札幌建青会
テーマ／社長が変わらなければ、会社は変わらない
- 第23回**
主 管／道南建設二世会
テーマ／Survival～未来をつかむ
- 第24回**
主 管／室蘭経営研究会
テーマ／未来へ向かって歩みだそう～続・変革～今を生きぬく力
- 第25回**
主 管／帯広二建会
テーマ／「笑顔」
- 第26回**
主 管／空知経営研究会（葉月会）
テーマ／「元気創造」
- 第27回**
主 管／萌志会（留萌建設協会二世会）
テーマ／「水」
- 第28回**
主 管／旭川建設業協会二世会
テーマ／「人と地域をつなぐ感動を」

2013 年度 年間スケジュール

北海道建青会		全国建設青年会議	
		2月18日	第18回全国建設青年会議 全国大会 第1回準備会(東京) 主幹:中国ブロック
4月9日	第1回役員会(札幌)	5月14日	第2回準備会(東京)
7月10日	第2回役員会(札幌) ●研修会● 講師:北海道開発局 事業振興部工事管理課長 倉内公嘉 様	7月25日	第3回準備会(出雲)
9月27日	第3回役員会(旭川) 第28回 全道会員大会 テーマ 「人と地域をつなぐ感動を」	9月17日	第4回準備会(東京)
		9月18日	国土交通省との意見交換会
11月予定	第4回役員会(札幌)	11月29日	第18回 全国大会(広島) テーマ “考動”～Ideal Action 今建設青年人が動くとき!～
2014年 2月予定	第5回役員会(札幌) 反省会		

お礼の言葉

第28回北海道建青会全道会員大会を上川地域の旭川において開催するにあたり、ご多忙の折りにもかかわらず、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、また、全道各地よりお越しいただきました会員の皆様に主管地区一同、心より感謝と歓迎の意を申し上げます。

さて近年、地球規模で発生する自然災害はTVや新聞の向こう側でおきている遠い世界の出来事では無く、ゲリラ豪雨や竜巻などの風水害、人命を奪うほどの暴風雪は私たちの周囲でも頻繁に発生しております。災害に備えた出動や待機は昼夜休日に関係なく、復旧活動も年々増え続け、その驚異を身近に感じるようになりました。

また、少子高齢化に伴う人口減少は、地方の過疎化を加速させ、地域を取り巻く環境は新たな厳しさを迎え、今まで以上に地域と人々の絆が重要になると感じています。

私たちは建設業という人々の暮らしに密接に関わる仕事に従事するものとして、この大会を通して地域と人々の絆を振り返るきっかけになればと考え、記念事業として映画「じんじん」を鑑賞する企画をたてました。

当会に所属されている皆様は、各々の暮らす街で地域振興のリーダー的存在として、ご活躍されていることと思っておりますが、あらためて建設業という誇りある仕事を再認識し、地域振興への関わりを、より活発化できる大会になればと願っています。

本日、皆様に配布したパンフレットに映画「じんじん」を全国で鑑賞できる特別鑑賞券を同封させていただきました。

皆様のお住まいの地域で上映会があれば、今度は家族や大切な方と観ていただきたい。そして、北海道で作られたこの映画の感動の輪を全道各地に拡げていただければ幸いです。

結びに、平成3年の第6回大会、平成14年の第17回大会に続き、上川が主管する3回目の大会となる今大会の開催にあたり、皆様をお迎えする為に万全の準備をしたつもりでは御座いますが、実行委員長(私)の力量不足で、何かと不手際、失礼があったかと存じます。

この場を借りてお詫び申し上げます。

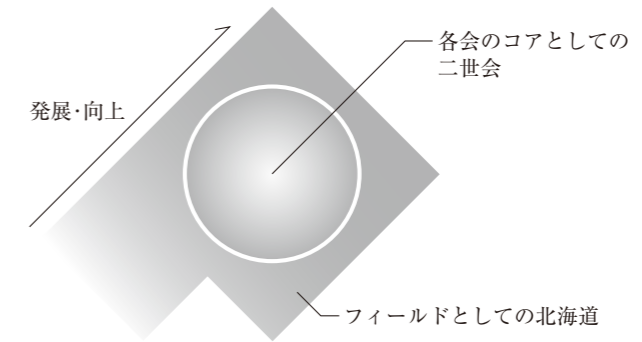
今大会を通じ北海道建青会会員の皆様が、益々友好を深めるとともに、会員企業のご発展を心からご祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。



北海道建青会大会実行委員長
旭川建設業協会 二世会

花本 金行

北海道建青会 ロゴ・マーク コンセプト



北海道 HOKKAIDO KENSEIKAI 建青会

北海道という大きなフィールドの中で、各地区の目的と理念を一つとして共通のコア(核)を築き上げることを実現するように設計。

力強く描かれた四角形は、北海道はもとより、緑の大地がフィールドとすることを表すスクエア。その中心に配する円は、まさしく統一理念とコアとしてのサークル(集まり・仲間・円)、技術向上と地域社会の発展に絶えず目を見開き、会員相互の連携を深めることを目標とする。

ロゴタイプは、力強いスクエアとのバランスから、力強く存在感のある書体を設計。会員相互の連携、地域社会への発展に役立っていかうとする決意を表している。

コーポレートカラーは、メインカラーは自然を大切にしたいグリーンとし北海道の広大な大地をイメージしたカーキイエローを配色している。明るく、エコロジカルな表現に加え、若々しいイメージ表現を設計。